

AIRHEADS通信

vol.

70

迷える方に朗報！触れて実感、参加して納得の 「Airheadsスクール」って何？

平素より「Airheads通信」をご愛読いただき誠にありがとうございます。
今回はマーケティング部の井上が、お届けします。

来週からはよいよ12月を迎えます。皆様いかがお過ごしでしょうか。

年末のこの時期は、ベートーヴェンの交響曲第九番、いわゆる「第九」を
耳にする機会が増えるタイミングです。すでに聞かれた方も多いのではないのでしょうか。
実はこの第九、日本で初めて演奏されたのは今からちょうど100年前の1918年だそう。
ご存知でしたか？

私は趣味でチェロを弾いているのですが、先日ある団体が主催する第九の演奏会に
チェリストの1人として参加する機会を得ました。
この記念すべき100年というメモリアルイヤーに、演者として参加できるなんて！！



そのイベントに参加した時の写真になります。
いや、素敵な演奏会でした！

ただし、この合唱付きの4楽章編成、演奏時間1時間強のこの楽曲、

実は**おいしいところはすべて合唱団に持っていかれる**という、

オーケストラとしては報われない傑作の1つ（個人的見解です）！！

それでも素晴らしい楽曲であることは間違いありません。

楽器の役割がそれぞれ絶妙に計算されており、シラーの詩が合唱団の声とともに響き渡り、人々の心を揺さぶる名曲として多くの人に親しまれているのです。

私はマーケティングを生業としており、人の気持ちにメッセージを届けるにはどうすべきか日々考えています。

第九のように、とまでは言いませんが、少しでも皆様の心に響くようなメッセージをお届けできるよう、日々精進していきたくと考えている、今日この頃です。

迷える方に朗報！触れて実感、参加して納得の「Airheadsスクール」って何？



新たに工場全体のネットワーク更改を迎えるにあたり、プロジェクトの責任者として大輔が現場に赴くことに。土産ばかりが気になってしまう大輔ですが、現場に設置するネットワーク機器についても、実は不安なことがあるようで。そこでディーンがおすすめする「Airheadsスクール」に大輔・美咲も興味津々、いったいどんなことが学べるのでしょうか。



大輔（だいすけ）

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD&W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。



美咲（みさき）

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD&W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。



ディーン

D&W社のシステム部門に在籍する留学生・インドネシア人。ネットワークやセキュリティのスペシャリストながら、日本の文化に傾倒、大輔や美咲よりも日本のカルチャーに詳しい。



美咲くん、どうしたものかね。



大輔さん、おはようございます。
また、ずいぶん眉間にしわを寄せてますけど、何かあったんですか？



いやね、今度仙台に出張があるんだけどさ。



ああ、聞いてますよ。先日会議で議題になった、仙台にある工場のネットワーク刷新プロジェクトのからみですね。



そうそう、それで悩んでるの。



ネットワーク全体を更改するって話ですからね。範囲も広いし、設計し直すことになるので、そりゃ悩みますよね。



ん？僕が悩んでいるのはそんなことじゃないんだよ。お土産のことさ。



お、お土産？



いやね、仙台といえば“萩の月”が有名だし、“ずんだ餅”も手堅いでしょ。甘いものでなければ、牛タンや“笹かま”なんてのも。いやー、どうしよう？



...大輔さん、仕事しましょ？



も、もちろん、仕事はするよ！今回だって新たに無線LANを展開するつもりだし、LANスイッチだって刷新するんだから。



そこに悩みはないんですか？



ああ、そういえば、新たにLANスイッチをいろいろ検討していたんだけど、やっぱり実際触ってみたいなって思っていたんだよね。



何か確認したいことがあるんですか？



以前ディーンに説明してもらったことがあったけど、やっぱり自分で触ってみたいなって。あとは、提供するメーカーからも動作について詳しく聞きたいことがあるし。



じゃあ来てもらったらいじゃないですか？



いや、でもLANスイッチを持ってきてもらっても、それだけじゃただのBOXを見るだけになっちゃう。その場でデモを見たとしても、簡易的なネットワーク上でのデモだから、動きが実態に即していないでしょ。あと...



あと？どうしました、もじもじして。



僕自身がさほどネットワークに詳しくないからさ、なんか“自由に触ってください”って持って来られても、恥ずかしいというか。どう触っていいかわからないというか。



大輔さん、そんな乙女キャラでしたっけ？
「できませんけど、何か？」みたいに、開き直っているようなキャラでしょ。



そりゃー、僕だって恥ずかしいことはあるよ。なので、もしメーカーの人にデモをやってもらうことがあれば、美咲くんも同席してくれない？



ええ！？そんなに暇じゃないですよ。自力で何とかしてください。



それができれば、そうするよ。できないからお願いしているんじゃないか。
じゃあ、ディーンは？



おはようございます。同席してもいいですけど、もっといいものがありますよ。
学校に入って機器に直接触って見たらいいんです。



学校？ネットワーク機器を直接いじることができる学校があるの？



まあハンズオンセミナーのようなものですが。
私も何度か参加しまシタが、とても有意義な時間でシタよ。



それってどんなものなの？今回は、ネットワーク機器についていろいろ触りたいんだよね、有線無線問わずなんだけど。



「Airheadsスクール」っていうものデス。Arubaが提供しているものデスよ。



前に「Airheadsアカデミー」っていうイベントについては紹介したわね。
それとの違いって何なの？



「Airheadsアカデミー」は大きな会場で技術者が登壇して説明する、ある意味一方通行のイベントデス。たくさんの方が一堂に会して技術的な知識を学ぶ場デスよね。対して「Airheadsスクール」は、小さな会議室で開催され、8名程度の小規模で開催されるハンズオンセミナーデス。



少人数な運営なのね。



少ない人数のほうが細かく教えてくれマスからネ。
機器などを触れることができるノデ、直接気になることを試してみたり、講師にバシバシ聞いてみたり。座学というよりも実践がメインとなっていマス。



それはいいわね。ちなみにどんなテーマが予定されているのかしら。



「Switch」「コントローラー (AOS8.x)」「Instant AP」といったハードウェアから、認証系の「ClearPass」やクラウド管理基盤の「Central」、中にはAPIを使って便利にネットワーク運用に役立つ「プログラミング」といったテーマで開催されていマス。

Airheads スクール コース概要

	内容
1	Instant AP 製品概要を紹介するとともに、SSID (802.1X認証/Web認証) の設定に加えて、ロールを使ったアクセス制御等を、ハンズオン形式で学習していただきます。
2	Switch 製品概要を紹介するとともに、基本的な設定 (VLAN/LACP/IP関連) に加えて、認証ポートの設定やロールを使ったアクセス制御等を、ハンズオン形式で学習していただきます。
3	Clear Pass 製品概要を紹介するとともに、基本的な認証サービス/ゲストWi-Fi用サービスの作成等を、ハンズオン形式で学習していただきます。
4	Central 製品概要のご紹介するとともに、CentralへのInstant APの登録、テンプレート・コンフィグの作成/適用等を、ハンズオン形式で学習していただきます。
5	コントローラー (AOS8.x) 製品概要を紹介するとともに、初期設定やSSID (802.1X認証) に加えて、コントローラーのクラスター構成を、ハンズオン形式で学習していただきます。
6	プログラミング①<環境構築編> プログラミング①ではCURL,Python,Pycharmなど実行環境について基礎内容を座学で学びます。その後、実際にご自身のPCに環境設定を行います。
7	プログラミング②<実践編> プログラミング①で前回作った環境を利用してREST APIの動作を確認するほか、ython+PycharmでREST APIの処理を自動化するプログラムを作成するなど、より実践的な内容を学びます。



おお、結構開催コースが多いんだな。
ちょっと触ってみるにはよさそうな雰囲気。



まさにハンズオントレーニングですからね。時間は...毎回3時間ほどですね。



そうデスね。それだけあればしっかり触ることができるはずデス。
しかも、無料ですから気軽に参加できマス。



無料、最高だね！！ちなみに、メーカーの人が講師に立ってくれるの？



そうデスね。
なので、触るだけでなく、疑問に思っていることはどんどん質問できマスよ。



メーカーの人ともパイプができるから、相談もしやすくなるかもね。



そういう点でもメリットがたくさんありそうね。



しかも、ネットワーク環境がしっかり用意されているノデ、実際の運用に近い形でいろいろ試せるのも大きなメリットです。LANスイッチと無線LANをクラウド環境のCentralで管理するといった、複数のソリューションを組み合わせで試せるのも、「Airheadsスクール」のメリットだと思います。



同時に複数触れるものじゃないと実際の運用イメージが沸かないこともありますからね。



認証のClearPassなんて、実際の動きは単体というよりもクライアントも含めて認証プロセスを確認したいデショウし。しっかりネットワーク環境が整っている状況でないと、実際の動きが把握できませんから。



よし、善は急げだ！さっそく申し込んでみるよ。



じゃあ、今度は実際参加した「Airheadsスクール」の様子を教えてくださいよ。



オッケー。どんなハンズオンなのか、しっかり体験してくるよ！
あ、そういえばお土産...



冒頭に話していたやつですか？まあ、お土産であれば誰も文句はいわないでしょう。何でもいいと思いますけどね。



美咲くんは甘いなあ、そういう細かいことにこだわるのが大切なんだよ。



じゃあ、現場でハンズオンしてくればいいのデハ？



現場でハンズオン？



おお、ディーン、冴えてるね！どれがベストなお土産なのか、試して来いってことでしょ？おお、俺の両手がうなるぜー！！



意味がよくわからないんですけど？



試食コーナーで両手を使ってバンバン試すんだよ。手に触れて（食べて）試すわけだから、まさにハンズオン、っていうわけ。いやー、今から楽しみ！！



...大輔さん、仕事しましょ？

Airheadsスクールへの申込みはこちら

https://f-vr.jp/hpe_aruba/enq/mail_reg/airheads_ho/seminar_new_form.cgi

【おしらせ】

Airheadsアカデミーシーズン2の動画を公開しました！

下記URLよりご覧いただけます。

<https://www.it-ex.com/distribution/securitynetworksolution/arubabiz/airheads-japan/>

バックナンバー

- ▼ 見えるから解決！ 無線LANトラブル1 うまくつながらない (vol.1~2)
- ▼ 見えるから解決！ 無線LANトラブル2 遅くなったように感じる！ (vol.3~6)
- ▼ 予知できるから安心！ 無線LANトラブルの回避 トリガー設定編 (vol.7~10)
- ▼ コントローラ内蔵APが現場を救う！ 無線LAN導入のススメ (vol.11~21)
- ▼ 認証ソリューション「ClearPass」による安全対策のイロハ (vol.22~25)
- ▼ Office 365/Skype for Businessによるワークスタイル変革に最適な無線LANの勘所 (vol.26~28)
- ▼ パブリックに出せないインフラに俊敏性と拡張性を実現、フレキシブルキャパシティ (vol.29~31)
- ▼ それ選んじゃダメなの！？ 後悔しない“クラウドWi-Fi”選びの視点 (vol.32~34)
- ▼ WannaCryの対策がワカラナイ... HPE Aruba的ランサムウェア対策のススメ (vol.35)
- ▼ 失敗事例に学ぶクラウドWi-Fiの落とし穴 大輔が見た真実 (vol.36~37)
- ▼ 大輔的シリコンバレー見聞録 (vol.38~40)
- ▼ もう取り寄せた？ 無料入手「HPE Networking製品カタログ」がすごい件 (vol.41)
- ▼ “犯人は無線”冤罪を証明するClarityって何？ (vol.42~43)
- ▼ 大輔が行く！ マカオ「APAC Atmosphere 2017」ルポ (vol.44~46)
- ▼ 慶應義塾大学が5種類のAPを使い分けるわけ... 事例探訪 (vol.47)
- ▼ IoT時代のネットワークづくりに貢献「ArubaOS 8」って何がスゴイの？ (vol.48)
- ▼ 今年の学びを総決算！ リーナ通信2017年振り返り (vol.49)
- ▼ 大輔的シリコンバレールポ (vol.50~54)
- ▼ “SDNその先へ” (vol.55~58)
- ▼ クラウドWi-Fi事例探訪 (vol.59~60)
- ▼ 再考すべきLANスイッチ選択 (vol.61~62)
- ▼ 「Airheadsアカデミー」体験記 (vol.63~64)
- ▼ Aruba本社研修レポート (vol.65~66)
- ▼ 漫画とフローチャートで最適なLANスイッチ選びを支援！ LANスイッチ選びのススメ (vol.67)
- ▼ APAC Atmosphere 2018探訪記 (vol.68~69)

バックナンバーは、下記サイトにて公開しております。

<https://www.hpe.com/jp/ja/networking/mailmagazine.html>

※最新版が掲載されていない場合もありますが、随時掲載して参りますので後日ご確認ください。